



早稲田大学 大学院  
スポーツ科学研究科  
Waseda University Graduate School of Sport Sciences  
2019

修士課程2年制／博士後期課程  
修士課程1年制

Two-year Master's Program and Doctoral Program  
One-year Master's Program



Waseda University Graduate School of Sport Sciences

スポーツ科学が社会と文化を創出する

# INFORMATION

## 出願期間・入学試験日程

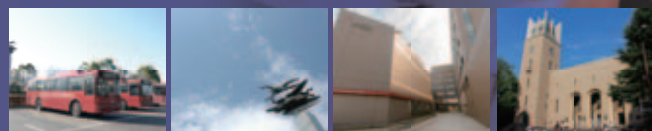
募集課程	試験区分	出願期間	試験日	合格者発表日
修士課程2年制	スポーツ科学部生特別入学試験(6月期)	2018年5月8日(火) 5月14日(月)	2018年6月2日(土)	2018年6月15日(金)
	スポーツ科学部生特別入学試験(10月期)	2018年8月28日(火) 9月3日(月)	2018年10月20日(土)	2018年10月26日(金)
	スポーツ科学部生特別入学試験(1月期)	2018年12月4日(火) 12月10日(月)	2019年1月19日(土)	2019年1月25日(金)
	一般入学試験(秋期)(社会人・外国学生を含む)	2018年8月28日(火) 9月3日(月)	2018年10月20日(土)	2018年10月26日(金)
	一般入学試験(春期)(社会人・外国学生を含む)	2018年12月4日(火) 12月10日(月)	2019年1月19日(土)	2019年1月25日(金)
修士課程1年制	一般/社会人入学試験(秋期)	2018年8月28日(火) 9月3日(月)	2018年10月20日(土)	2018年10月26日(金)
	一般/社会人入学試験(春期)	2018年12月17日(月) 2019年1月7日(月)	2019年1月19日(土)	2019年1月25日(金)
博士後期課程	推薦入学試験	2018年8月28日(火) 9月3日(月)	2018年10月20日(土)	2018年10月26日(金)
	一般入学試験(秋期)(社会人・外国学生を含む)	2018年8月28日(火) 9月3日(月)	2018年10月20日(土)	2018年10月26日(金)
	一般入学試験(春期)(社会人・外国学生を含む)	2018年12月4日(火) 12月10日(月)	2019年1月19日(土)	2019年1月25日(金)
	【9月入学】 一般入学試験(社会人・外国学生を含む)	2019年5月7日(火) 5月13日(月)	2019年6月1日(土)	2019年6月14日(金)
科目等履修生	2019年2月1日(金) 2月8日(金)	2019年3月2日(土)	2019年3月4日(月)	

※出願前に研究指導を希望する教員とコンタクトをとる必要があります。また、一部の入試では英語のスコアが必要です。詳細は「入学試験要項」をご覧ください。  
※海外出願は詳細が別途ありますので、ご注意ください。  
※英語による研究指導および博士学位取得が可能です。詳細はスポーツ科学研究科ホームページにて入試要項をご確認ください(一部の研究指導を除く)

### 交通案内



所沢 キャンパス	○西武池袋線	小手指駅 下車 小手指駅より学バス【無料】(20分)
東伏見 キャンパス	○西武新宿線	東伏見駅 南口下車(徒歩1分)
早稲田 キャンパス	○JR山手線	高田馬場駅 下車(徒歩20分)
	○西武新宿線	高田馬場駅 下車(徒歩20分)
	○東京メトロ東西線	早稲田駅 下車(徒歩5分)



### ●お問い合わせ先

#### 早稲田大学 所沢総合事務センター

〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15

Tel.04-2947-6855

E-mail supoken-nyushi@list.waseda.jp

<https://www.waseda.jp/fspd/gspd/>

※上記URLから入学試験要項が確認できます。



## 学生の声



大野 望 さん

2018年4月入学  
所属研究領域 スポーツビジネス研究領域  
研究指導名称 スポーツビジネスマーケティング

### 修士課程での研究内容および研究室の雰囲気について

ゴールデン・スポーツイヤーズが目前に迫る日本において、スポーツビジネスを学ぶ重要性はますます高まっています。中でもスポーツビジネスマーケティングを学ぶことはスポーツに携わるすべてのステークホルダーにとって必要なことだと思います。研究室は松岡教授をはじめとするスポーツビジネス研究に精通した方々と共に真摯に研究に取り組める雰囲気です。また、スポーツビジネス研究領域の学生間の交流も深く、幅広い視点で研究に取り組むことができます。私は、スポーツ観戦時に行う座席選択という消費者行動に着目し、今後のスタジアム開発や新しい座席に関連したサービス案を作成する際の参考になるような、観戦者が「なぜ、その座席を選んだのか」「その座席でどのようなものが求められているのか」を明らかにする研究を行っています。

### スポーツ科学研究科でよかったことについて

スポーツ科学研究科の魅力はスポーツを素材として様々なことを学ぶことができることだと思います。スポーツ科学という学問は人文科学、自然科学、社会科学の三領域にまたがっていて、本研究科では各領域を横断的に学ぶことが可能です。また、国内のみならず世界の大学との共同研究プロジェクトに携わることができるのも大きな魅力です。学生一人ひとりの興味と関心に対して様々な組み合わせの選択肢があります。

### 博士後期課程での研究内容および研究室の雰囲気について

人間の身体に関する知識を深め、世界に通用する研究者になることを志し、博士後期課程への進学を決意しました。現在、私は全身の骨格筋を包む、筋膜という組織に着目して研究を進めています。筋膜の性質の運動習慣や加齢による変化、力発揮中の筋肉との相互作用を明らかにすることで、身体運動において筋膜が果たす役割を解明したいと考えています。私の所属する研究室には多くの留学生や外国人スタッフが在籍しており、英語での会話や研究内容の議論など、他では味わうことのできない刺激的な日常を送っています。



大塚 俊 さん

2017年4月入学  
所属研究領域 身体運動科学研究領域  
研究指導名称 生体ダイナミクス

### スポーツ科学研究科でよかったことについて

スポーツ科学研究科では5つの研究領域から細分化された、約50項目の専門分野が設置されており、自身の研究テーマにより近い研究室が選択できます。MRI装置や超音波装置、動作解析装置などを用いて最先端の実験を行えること、世界で活躍する先生方の下で研究のいろはを学ぶことも、本研究科の大きな魅力です。また、体育各部所属の日本代表クラスの選手を対象とした測定や、選手たちと議論を深めることも可能であり、トップアスリートの能力を身近に感じられることも、本研究科ならではの特長だと実感しています。

## Tuition and Other Fees

(Unit : Japanese yen)

	Term	Tuition Fees			Other Fees			Total
		Entrance Fee	Course Fee	Laboratory / Training Fee	Fee for Student Health Promotion Mutual Aid Association	Academic Society Enrollment Fee	Annual Fee	
AY 2018 September Admission (Master's Program)	Fall (Upon admission)	200,000	463,000	35,000	1,500	2,000	2,500	704,000
	Spring	—	563,000	35,000	1,500	—	2,500	602,000
	Total	1,026,000	1,026,000	70,000	3,000	2,000	5,000	1,306,000
AY 2018 April Admission (Doctoral Program)	Spring (Upon admission)	200,000	338,500	35,000	1,500	2,000	2,500	579,500
	Fall	—	338,500	35,000	1,500	—	2,500	377,500
	Total	200,000	677,000	70,000	3,000	2,000	5,000	957,000
AY 2018 September Admission (Doctoral Program)	Fall (Upon admission)	200,000	338,500	35,000	1,500	2,000	2,500	579,500
	Spring	—	438,500	35,000	1,500	—	2,500	477,500
	Total	200,000	777,000	70,000	3,000	2,000	5,000	1,057,000

※ Applicants who have graduated, completed or withdrawn from a Waseda University department, graduate school or other program, and are being admitted to the University for the second time, are exempted from paying the entrance fee this time. Please refer to the Guidance for Admission Procedure that will be sent to successful applicants.

※ Applicants who had been enrolled in the Faculty of Sport Sciences, School of Human Sciences (only those who were enrolled in or before academic year 2002) or the Graduate School of Sport Sciences of Waseda University as a regular student are exempted from paying the enrollment fee for the academic society (however, those who were enrolled as non-degree students are not exempted).

## Tuition and Other Fees

### University Scholarships

Name of Scholarship	Eligibility	Scholarship grant (amount)/year
Okuma Memorial Scholarship	Privately-funded international students or Japanese Students	400,000 JPY
Ono Azusa Memorial Scholarship		400,000 JPY
Waseda University Partial Tuition-Waiver Scholarship for Privately Financed International Students	Privately-funded international students	Covering 50% of annual tuition
Scholarship for Young Doctoral Students	<ul style="list-style-type: none"> <li>•For doctoral students under 20 years old</li> <li>•Reapply each year (limited to 3 years)</li> <li>•Paid to all qualifying applicants</li> </ul>	400,000 to 520,000 JPY

### Non-University Scholarship

Name of Scholarship	Scholarship grant (amount)/Month	
For Japanese Students	Japan Student Service Organization First Category – non-interest loan	Master's Program 50,000 or 88,000 JPY Doctoral Program 80,000 or 120,000 JPY
	Japan Student Service Organization Second Category – interest-bearing loan	50,000~150,000 JPY
For International Students	Monbukagakusho Honors Scholarship	48,000 JPY

# INFORMATION

## Application period · Entrance examination

Program	Admission	Application period	Entrance examination	Announcement of successful applicants
English-based Master's Program (2-year)	AY2019 September Admission	April 15 (Mon) ~ May 13 (Mon) 2019	Only Document Screening	June 14 (Fri) 2019
English-based Doctoral Program	AY2019 April Admission	November 12 (Mon) ~ December 10 (Mon) 2018	Only Document Screening	January 25 (Fri) 2019
	AY2019 September Admission	April 15 (Mon) ~ May 13 (Mon) 2019	Only Document Screening	June 14 (Fri) 2019

※ Contact with the supervisor of the desired tutorial is required prior to submitting the application. It is also needed to submit English score in some entrance examinations. For details, please check Application Guide.

※ Overseas applications must arrive by the deadline.

※ You can receive the tutorial and Doctoral Degree in English. For more information, please check the application guideline on the website of Graduate School for Sport Sciences (Except for some tutorials).

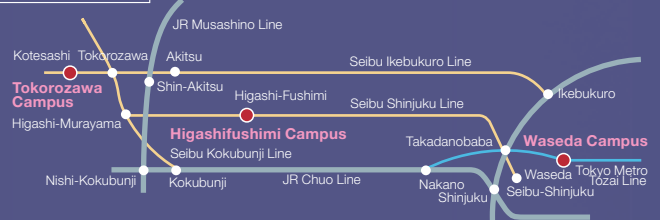
### Application Requirements

Applicants for whom English is a second language must score 80 or more on TOEFL (iBT) or 6.0 or more on IELTS (academic module).

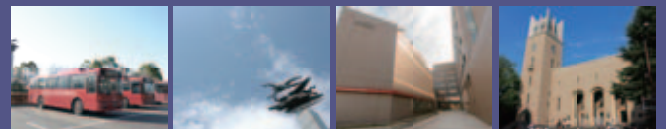
### Document screening

The decision whether to accept or reject will be based on the results of evaluation of all the required documents submitted.

### Access



<b>Tokorozawa Campus</b>	<b>Seibu Ikebukuro Line</b> Get off at Kotesashi station From Kotesashi station by bus [free] (20 minutes)
<b>Higashifushimi Campus</b>	<b>Seibu Shinjuku Line</b> Get off at Higashi-Fushimi station South Exit (1 minute by foot)
<b>Waseda Campus</b>	<b>JR Yamanote Line</b> Get off at Takadanobaba station (20 minutes by foot) <b>Seibu Shinjuku Line</b> Get off at Takadanobaba station (20 minutes by foot) <b>Tokyo Metro Tozai Line</b> Get off at Waseda station (5 minutes by foot)



### ● Contact

Waseda University Tokorozawa Administrative Center  
2-579-15 Mikajima, Tokorozawa, Saitama, 359-1192  
Tel.04-2947-6855



E-mail [supoken-eng@list.waseda.jp](mailto:supoken-eng@list.waseda.jp)  
<https://www.waseda.jp/fspd/gspd/en>

※ Please access the above URL to see Application Guide.

## 修士課程1年制

### 履修方法

## 修士課程1年制

1. 修士課程1年制を修了するには、通常1年以上2年以内在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および試験に合格しなければなりません。合格者には「修士(スポーツ科学)」の学位が授与されます。

2. 前項の30単位は、次のように履修します。

### トップスポーツマネジメントコース/スポーツクラブマネジメントコース/ 健康スポーツマネジメントコース/介護予防マネジメントコース

必修/選択	科目区分	科目の説明	修了要件
必修	研究指導	各コースの研究指導	合格
	修士論文		合格
	演習科目	所属する研究指導の演習(1)A・B	4単位
	マネジメント科目		6単位(以上)
選択	演習科目	所属する研究指導以外の演習(1) ※8単位以内	30単位より必修科目で取得した単位を除いた単位数
	マネジメント科目 基礎選択科目 講義科目等	領域・コースにとらわれず 自由に選択 (2年制コース設置科目を含む)	
修了単位数			30単位(以上)

### エリートコーチングコース

必修/選択	科目区分	科目の説明	修了要件
必修	研究指導	エリートコーチング研究指導	合格
	修士論文		合格
	演習科目	エリートコーチング演習(1)A・B エリートコーチング総合演習 スポーツ科学演習	8単位
	講義科目	論文作成技法	2単位
	マネジメント科目	コーチングマネジメント論・実習A~D	8単位
選択必修	講義科目		8単位(以上)
選択	演習科目	所属する研究指導以外の演習(1) A・B	30単位より必修科目で取得した単位を除いた単位数
	マネジメント科目 基礎選択科目 講義科目等	領域・コースにとらわれず 自由に選択 (2年制設置科目を含む)	
修了単位数			30単位(以上)

### ■ エリートコーチングコースを除く修士課程1年制は社会人向けの講座です。

トップスポーツマネジメントコース/スポーツクラブマネジメントコース/健康スポーツマネジメントコース/介護予防マネジメントコースについてはほとんどの授業科目が「早稲田キャンパス」で開講されます。さらに、その時間帯も平日の夜間(18時以降)および土曜日(終日)が中心です。エリートコーチングコースについては主に「所沢キャンパス」で昼間に開講されます。

※エリートコーチングコースは、一般入試での募集を行っています。

### ■ 入学には一定の要件を満たしていることが必要です。

スポーツ科学研究科修士課程1年制の入学試験においては、それぞれのコースで求められる要件を前提とし、出願書類の審査を経て、面接試験の成績を加味して、総合的に判定します。詳細は「入学試験要項」をご確認ください。

## 入学金・学費

[2018年度入学者1年次 ※ご参考]

(単位:円)

課程	納入期	入学金	学費		諸会費			合計
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	学会入会金	学会会費	
修士課程 2年制	入学時	200,000	463,000	35,000	1,500	2,000	2,500	704,000
	秋学期	—	463,000	35,000	1,500	—	2,500	502,000
	計	200,000	926,000	70,000	3,000	2,000	5,000	1,206,000
修士課程 1年制	入学時	200,000	619,000	35,000	1,500	2,000	2,500	860,000
	秋学期	—	619,000	35,000	1,500	—	2,500	658,000
	計	200,000	1,238,000	70,000	3,000	2,000	5,000	1,518,000
博士後期 課程	入学時	200,000	338,500	35,000	1,500	2,000	2,500	579,500
	秋学期	—	338,500	35,000	1,500	—	2,500	377,500
	計	200,000	677,000	70,000	3,000	2,000	5,000	957,000
博士後期 課程 (9月入学)	入学時	200,000	338,500	35,000	1,500	2,000	2,500	579,500
	春学期	—	438,500	35,000	1,500	—	2,500	477,500
	計	200,000	777,000	70,000	3,000	2,000	5,000	1,057,000

※2019年度の学費・諸会費は改定される場合があります。  
※当学の学部、大学院、専攻科の在学学生、卒業生、修了生、または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。

## 奨学金

### ■ 学内奨学金

名称	詳細	支給額(年額)
大隈記念奨学金【給付】	成績上位者から研究科で選考 (奨学金登録は不要)	400,000円
小野梓記念奨学金【給付】	経済的に修学困難な学生を援助	400,000円
校友会給付奨学金 研究科【給付】	早稲田大学校友会の寄付からなる 奨学金で、家計困窮度ならびに学業 成績を総合的に勘案し選考	400,000円
大学院博士後期課程 若手研究者養成奨学金【給付】	2009年度以降の入学者で、標準 修業年限内に在籍し、奨学金を受け る年度の4月1日時点で満30歳未 満の者。 詳細は当年度5月以降に配布する 募集要項を必ず確認してください。	400,000円 ~520,000円

### ■ 学外奨学金

名称	支給額
日本人学生向け	日本学生支援機構奨学金 「第一種」【貸与】無利子 50,000 ~ 150,000円から選択 博士 80,000・122,000円から選択
外国人留学生向け	私費外国人留学生学習奨励費 【給付】 48,000円(月額)

## トップスポーツマネジメントコース Top Sports Management Course

### 日本のスポーツ界を切り拓く実力を養う

スポーツビジネスや一般企業などでの実務経験を有する者に対して、クラブ・球団経営やスポーツメディアを中心としたプロスポーツビジネスの実践技能とマネジメント能力を開発することによって、トップスポーツ界で要請される人材を育成することを目的とします。トップスポーツビジネスに関する実践力と理論的研究能力の育成を図りつつ、関わる諸問題を高度な教育・研究を通して解明し、その進展に寄与し得る実務的・専門的能力を養成します。

担当教員名: **平田 竹男** 教授

専門/専攻分野: 経営学、行政学/スポーツ産業学、スポーツビジネス論  
科目例: トップスポーツマネジメント研究法/スポーツの法と契約

## スポーツクラブマネジメントコース Sports Club Management Course

### 地域スポーツ振興や クラブづくりを担う人材を育む

地域スポーツクラブ、民間スポーツクラブ、スポーツ行政、スポーツ団体等での実務経験を有する者に対して、スポーツサービスを中心としたコミュニティ・スポーツビジネスの実践技能とマネジメント能力を開発することによって、地域でのスポーツクラブビジネスや公共スポーツ施設経営などで要請される人材を育成することを目的とします。コミュニティスポーツビジネスに関する実践力と理論的研究能力の育成を図りつつ、関わる諸問題を高度な教育・研究を通して解明し、その進展に寄与し得る実務的・専門的能力を養成します。

担当教員名: **間野 義之** 教授

専門/専攻分野: スポーツ政策論/スポーツビジネス  
科目例: スポーツクラブマネジメント研究法/経営と戦略

## 健康スポーツマネジメントコース Health and Sports Management Course

### 健康増進の新機軸開発に取り組む

健康増進の実務経験を有する者に対して、運動やスポーツを中心とした健康増進活動の実践技能とそのマネジメント能力を開発することによって、社会的に要請される人材を育成することを目的とします。健康増進に関する広範な基礎知識を踏まえて、スポーツや身体運動・トレーニングを通じた実践的な指導技法とその理論基盤を理解した上で、地域行政あるいは健康関連組織における健康増進のマネジメントを行う上での実務的・専門的能力を開発します。

担当教員名: **中村 好男** 教授

専門/専攻分野: 体力科学・スポーツ産業学/健康スポーツ論  
科目例: 健康スポーツマネジメント研究法/健康指導コミュニケーション

## 介護予防マネジメントコース Preventive Care Management Course

### 介護予防現場での実践的解決力を修得する

健康増進あるいは介護の実務経験を有する者に対して、介護予防活動の実践技能とそのマネジメント能力を開発することによって、社会的に要請される人材を育成することを目的とします。介護予防に関する広範な基礎知識を踏まえて、要介護認定者ならびに自立認定される虚弱高齢者に対して虚弱度の進行を抑制するための実践的な指導技法とその理論基盤を理解した上で、地域行政あるいは介護関連組織における介護予防のマネジメントを行う上での実務的・専門的能力を開発します。

担当教員名: **岡 浩一郎** 教授

専門/専攻分野: 健康心理学・行動医学・老年学/介護予防・ヘルスプロモーション  
科目例: ヘルスプロモーション演習/健康行動科学特論/介護予防特論

## エリートコーチングコース Elite Sports Coaching Course

### トップレベルのスポーツ指導者の キャリアアップを促進する

国際大会で活躍した選手や指導者が、科学的な知識や研究方法を修得し、競技経験および指導経験から蓄積してきた知識や視点を広く発信できる能力を育てます。具体的には、エリートコーチングコースでの教育によって、各自がスポーツの実践を通して獲得している「経験知」や「暗黙知」を、指導書や研究論文といった「形式知」にまとめ、スポーツ界、ひいては社会全体の発展に役立てる能力を修得します。

担当教員名: **土屋 純** 教授(主担当)

専門/専攻分野: コーチング科学/スポーツ運動学、スポーツ方法学、  
スポーツバイオメカニクス

**磯 繁雄** 教授

専門/専攻分野: コーチング科学/走りの科学

**奥野 景介** 教授

専門/専攻分野: コーチング科学/水泳、スポーツ方法学、コーチング

**堀野 博幸** 教授

専門/専攻分野: コーチング科学/スポーツ心理学、コーチング心理学

**倉石 平** 教授

専門/専攻分野: コーチング科学/バスケットボール(スポーツ方法学)

**岡田 純一** 教授

専門/専攻分野: トレーニング科学/運動生理学、バイオメカニクス

**松井 泰二** 准教授

専門/専攻分野: コーチング科学/コーチング学、バレーボールコーチング学

**射手 矢 岬** 教授

専門/専攻分野: 運動方法学(柔道)/スポーツ科学

科目例: コーチングマネジメント論・実習A・B・C・D

# 幅広いスポーツ科学の プロフェッショナルを育む

Educating Professionals in wide areas of sport sciences

早稲田大学 大学院

スポーツ科学研究科

Waseda University  
Graduate School of Sport Sciences

人間の日常生活活動において、スポーツは深く浸透し、私たちの生活に多くの影響を与えています。スポーツに関わるさまざまな課題を対象として、研究と教育を総合的に実施するために設置されたのが早稲田大学大学院スポーツ科学研究科です。本研究科では、スポーツ科学に期待される社会的要請の高まりに対応し、スポーツ関連の幅広い事業分野で専門職者として活躍する人材を育成することをめざしています。育成する人材像は、以下の通りです。

- 1 スポーツ医科学の専門知識を身につけた研究者  
および高度職業人
- 2 スポーツ文化の発展に貢献することのできる研究者  
および高度職業人
- 3 スポーツビジネス実務者への高度専門教育を通じての  
スポーツ界をリードする高度職業人

以上の学術研究者および高度職業人を育成するために、本研究科では、スポーツ文化、スポーツビジネス、スポーツ医科学、身体運動科学、コーチング科学の5つの研究領域を設けて、各々の研究成果を教育還元します。さらに、実務経験者を対象とする修士課程(1年制)を設置し、スポーツマネジメント分野等の実務者教育を行っています。大学院学生は、所属する研究指導の演習に専念するほか、さまざまな分野の講義・演習を履修することによって、スポーツ科学に関わる最高度の研究成果を修得することができます。これらの学生が社会へ羽ばたき、スポーツに関わる多彩な分野で活躍することを通じて、「豊かなスポーツ文化の創造」に資することが、本研究科の理念です。

Sports has deeply penetrated into our daily activities and is having various impacts on our lives. Graduate School of Sport Sciences of Waseda University was established to comprehensively implement research and education targeting various issues associated with sports. In response to the growing social expectations on sport sciences, this graduate school aims to educate human resources who can play active roles as experts in broad sports-related business fields. The human resources we aim to educate are as follows;

- 1 Academic researchers and highly skilled professionals who utilize their expertise of sports medicine.
- 2 Academic researchers and highly skilled professionals who can contribute to the development of sports culture.
- 3 Highly skilled professionals who lead the sport industry through the advanced professional education to people with practical experiences of sport business.

To educate academic researchers and highly skilled professionals described above, this graduate school sets up five research areas of sport culture, sport business, sports medicine, exercise science, and coaching and gives their research products back to education. It also sets up one-year master's program which targets students with practical work experiences to educate them in the areas like sports management. The graduate students can not only focus on seminars of the tutorial to which they belong but also take lectures and seminars in various fields offered by the school to study the highest level of research findings related to sports sciences. The philosophy of this graduate school is to contribute to the "creation of a rich sports culture" by educating such students that play active roles in various fields related to sports when they spread their wings towards the society.

- 主に所沢キャンパスで開講
- Mainly offered in Tokorozawa Campus

スポーツ文化研究領域  
Sport Culture research area

スポーツビジネス研究領域  
Sport Business research area

スポーツ医科学研究領域  
Sports Medicine research area

身体運動科学研究領域  
Exercise Science research area

コーチング科学研究領域  
Coaching research area

Health and Exercise Science\*

Sport Management\*

\*修士課程2年制のみ Only Two-year Master's program

スーパーグローバル大学創成支援健康スポーツ科学拠点として、教育研究に取り組んでいます。  
We are working on education and research as the Health Promotion: The Joy of Sports and Exercise model unit of Top Global University (TGU) Project.

修士課程1年制  
One-year Master's Program

修士課程2年制  
博士後期課程  
Two-year Master's Program  
Doctoral Program

- 社会人向け
- 主に早稲田キャンパスで開講
- 主に平日の夜間および土曜日に開講
- For mature students
- Mainly offered in Waseda Campus
- Mainly offered on weekday evenings and Saturdays

トップスポーツマネジメントコース  
Top Sports Management Course

スポーツクラブマネジメントコース  
Sports Club Management Course

健康スポーツマネジメントコース  
Health and Sports Management Course

介護予防マネジメントコース  
Preventive Care Management Course

- 学生および社会人向け
- 主に所沢キャンパスで昼間に開講
- For students and mature students
- Mainly offered in Tokorozawa Campus during the daytime

エリートコーチングコース  
Elite Sports Coaching Course

スポーツ文化研究領域  
Sport Culture research area

「体育学」をこえて  
新領域の「学」に挑む

Challenging new area of "Study" beyond "Physical Education"

スポーツは、現代社会の精神文化、技術文化のそれぞれに属する諸要素が有機的に連関し合っている体系と理解されています。本研究領域では、そこに生じる問題を社会学、教育学、文化人類学、倫理学、歴史学、哲学等の方法によって理解し、その解決に貢献することをめざします。そこでは、スポーツの在り方にかかわる基礎的問題から、スポーツメディア、スポーツ教育、スポーツ倫理、ジェンダー、舞踊、武道、観光化民族スポーツなど日常の社会生活に表れる応用的問題までが扱われます。スポーツを社会・文化的現象として対象化し、これを人文・社会科学的に研究し得る人材の養成、並びに高度かつ広範な専門的知識を身につけた職業人の養成をめざします。また、研究者、教員、スポーツ関連業界など一般産業界での幅広い活躍が期待されます。

Sports is perceived as a system that consists of organically linked factors belonging to both the spiritual and technical cultures of the modern society. In this research area, we aim to understand issues caused in this system using methods of social studies, pedagogy, cultural anthropology, ethics, history and philosophy, then contribute to solving these issues. The area deals with the fundamental issues related to the way sports should be as well as practical issues that are found in daily social life related to sports media, sports education, sports ethics, gender, dance, martial arts, and tourism-oriented ethnic sports. We aim to educate human resources who can take sports as social and cultural phenomena and research it from the perspective of human and social sciences as well as professionals with advanced and broad expertise. They are expected to play extensive roles as researchers, teachers, or professionals in general industries such as sports-related business.

研究指導名 Research Area	資格 Qualification	担当教員名 Name of tutorial	修士 Master	博士 Doctor
武道論 Intellectual History of Japanese Martial Arts	教授 Professor	志々田 文明 SHISHIDA, Fumiaki	×	×
スポーツ倫理学・教育学 Sport Pedagogy, Sport Ethics	教授 Professor	友添 秀則 TOMOZOE, Hidenori	●	◎
スポーツメディア論 Sport and the Media	教授 Professor	リー トンプソン THOMPSON, Lee	●	◎
スポーツ史 History of Sport	教授 Professor	石井 昌幸 ISHII, Masayuki	●	—
舞踊論 Choreology	教授 Professor	杉山 千鶴 SUGIYAMA, Chizuru	●	—
体育科教育学 Pedagogy of Physical Education	准教授 Associate Professor	吉永 武史 YOSHINAGA, Takeshi	●	—
スポーツ教授学 Sport Didactics	准教授 Associate Professor	深見 英一郎 FUKAMI, Eiichiro	●	—
スポーツ社会学 Sports Sociology	准教授 Associate Professor	中澤 篤史 NAKAZAWA, Atsushi	●	○
スポーツ文化論 Culture of Sport	教授 Professor	川島 浩平 KAWASHIMA, Kohei	●	◎

※「×」は募集しない、「—」は担当なしを示します。

※博士・Doctor 欄の「○」は日本語での研究指導を担当する教員を、「◎」は日本語・英語での研究指導を担当する教員を表します。

※「×」、「—」 means "accept no application".

※「○」 in "Doctor" field means that the supervisor offers the tutorial in Japanese, "◎" means that the supervisor offers the tutorial in Japanese and English.

スポーツビジネス研究領域  
Sport Business research area

スポーツを先進「経営」として  
とらえる

Taking sports as advanced "management"

本研究領域では、プロスポーツやフィットネスクラブに代表される民間営利スポーツから、政府や学校のような公共の非営利スポーツまでの幅広いスポーツビジネス分野を対象としています。スポーツビジネス現象のしくみについての理解を進めるとともに、スポーツビジネスの世界で生起する経営課題に対する解決方法を、働く個人やスポーツの参加者といったミクロ的視点から、制度や政策に関連するマクロ的視点にまで幅広く、学際的な方法を用いて究明します。そして、スポーツに関する基礎学問的な理解の上に、スポーツビジネスに関する高度な知識と技能を有した職業人および研究者の育成をめざします。また、スポーツ組織の経営力を高めるゼネラルマネージャーなどスポーツビジネスの世界での活躍が期待されます。

This area covers a wide range of sport business including both for-profit sports in private sector represented by professional sports and fitness clubs and non-profit sports in the public sector such as governments and schools. It promotes understanding of the mechanism of sport business phenomenon and finds solutions for management issues that occur in sport business using interdisciplinary approach based on broadly from the micro perspective of working individuals and sports players to macro perspective that relates to institutions and policies. We aim to educate professionals and researchers with advanced knowledge and skills of sport business based on the understanding of basic sciences related to sports. They are also expected to play active roles in sport business as leaders like general managers who improve management powers of sports organization.

研究指導名 Research Area	資格 Qualification	担当教員名 Name of tutorial	修士 Master	博士 Doctor
スポーツ経営学 Sport Management	教授 Professor	木村 和彦 KIMURA, Kazuhiko	●	—
健康スポーツ論 Health and Sports Promotion	教授 Professor	中村 好男 NAKAMURA, Yoshio	●	○
スポーツビジネスマネジメント論 Sport Business Management	教授 Professor	原田 宗彦 HARADA, Munehiko	●	◎
スポーツクラブビジネス論 Sport Club Business	教授 Professor	間野 義之 MANO, Yoshiyuki	●	○
トップスポーツビジネス論 Business Management in Top Sports	教授 Professor	平田 竹男 HIRATA, Takeo	●	○
スポーツ組織論 Sport Organization	教授 Professor	作野 誠一 SAKUNO, Seiichi	●	◎
スポーツビジネス・アドミニストレーション Business Administration of Sport Organizations	教授 Professor	武藤 泰明 MUTO, Yasuaki	●	◎
スポーツビジネスマーケティング Sport Business Marketing	教授 Professor	松岡 宏高 MATSUOKA, Hirotaka	●	◎
スポーツビジネス法 Sports Business Law	准教授 Associate Professor	松本 泰介 MATSUMOTO, Taisuke	●	—

※「—」は担当なしを示します。

※博士・Doctor 欄の「○」は日本語での研究指導を担当する教員を、「◎」は日本語・英語での研究指導を担当する教員を表します。

※「—」 means "accept no application".

※「○」 in "Doctor" field means that the supervisor offers the tutorial in Japanese, "◎" means that the supervisor offers the tutorial in Japanese and English.

スポーツ医科学研究領域  
Sports Medicine research area

# スポーツをメディカルな視点から研究する

Researching sports from the medical perspective

本研究領域では、スポーツ障害、健康医学、障がい者スポーツに関連した医学研究を推進すると同時に、研究に関連した知識と研究遂行能力を身につけます。スポーツ医科学におけるトップクラスの実践の場をフィールドとして、スポーツ医科学における研究活動を進めます。行政担当者、スポーツ関連企業のスタッフ、高度な研究能力と豊かな学識を有した研究教育者、および実践の場における高度な知識を有した指導者の養成を目的とします。国内外のスポーツ医科学研究機関との連携をはかりながら国際的研究の場での活動が身につくよう配慮します。また、研究者、教員、行政関係者、健康増進施設関係者、健康増進関連企業など、スポーツ医科学の知識と技術が要求される専門的分野での活躍が期待されます。

In this research area, students advance medical science researches related to sports disorders, health medicine, and para-sports and at the same time acquire research-related knowledge and ability to accomplish their researches. Research activities are carried out in the top-level fields of practice in sports medical sciences. It aims to educate administrative officers, staffs at sports-related companies, research educators with sophisticated research capabilities and a wealth of knowledge, and coaches with advanced knowledge in actual practices. We give extra considerations so that the students can play active roles in international research settings in collaboration with other sports medical science research institutions in Japan and abroad. They are expected to play extensive roles in areas of expertise that require knowledge and skill of sports medical science as researchers, teachers, administrative officers, health enhancement facilities staffs, and staffs of health enhancement-related companies.

研究指導名 Research Area	資格 Qualification	担当教員名 Name of tutorial	修士 Master	博士 Doctor
運動免疫学 Exercise Immunology	教授 Professor	赤間 高雄 AKAMA, Takao	●	◎
スポーツ健康管理学 Sports and Health Management	教授 Professor	坂本 静男 SAKAMOTO, Shizuo	●	×
運動器スポーツ医学 Musculoskeletal Sports Medicine	准教授 Associate Professor	鳥居 俊 TORII, Suguru	●	—
健康行動科学 Health and Behavioral Sciences	教授 Professor	岡 浩一郎 OKA, Koichiro	●	◎
スポーツ整形外科学 Sports and Exercise Medicine	教授 Professor	金岡 恒治 KANEOKA, Koji	●	◎
予防医学 Preventive Medicine	教授 Professor	鈴木 克彦 SUZUKI, Katsuhiko	●	◎
アスレティックトレーニング Athletic Training	教授 Professor	広瀬 統一 HIROSE, Norikazu	●	◎
骨格筋生理学 Skeletal Muscle Physiology	教授 Professor	秋本 崇之 AKIMOTO, Takayuki	●	◎
運動代謝学 Exercise Metabolism	准教授 Associate Professor	宮下 政司 MIYASHITA, Masashi	●	◎
運動器スポーツ機能解剖学 Functional Anatomy for Orthopaedic Sports Medicine	教授 Professor	熊井 司 KUMAI, Tsukasa	●	◎
健康教育学 Health Education	准教授 Associate Professor	石井 香織 ISHII, Kaori	●	—
スポーツ神経精神医学 Sports Psychiatry and Neurosciences	准教授 Associate Professor	西多 昌規 NISHIDA, Masaki	●	—
スポーツ疫学 Sports Epidemiology	教授 Professor	澤田 亨 SAWADA, Susumu	●	◎
アスレティックパフォーマンス Athletic Performance	准教授 Associate Professor	平山 邦明 HIRAYAMA, Kunio	●	—

※「×」は募集しない、「—」は担当なしを示します。  
※博士・Doctor欄の「◎」は日本語での研究指導を担当する教員を表します。  
※「×」「—」 means "accept no application".  
※「◎」 in "Doctor" field means that the supervisor offers the tutorial in Japanese, "◎" means that the supervisor offers the tutorial in Japanese and English.

身体運動科学研究領域  
Exercise Science research area

# ヒトの可能性を運動能力の視点から追究する

Pursuing human capabilities from the perspective of athletic performance

本研究領域では、健康増進やスポーツパフォーマンスの向上につながる研究を基礎科学的見地から進めます。スポーツの自然科学的側面に関する高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を有した研究者およびそれらに関連する高度専門職業人、スポーツ科学や体育学に関する高度な知識と技能を備えた教員、スポーツ指導者、行政担当者、スポーツ関連企業のスタッフなどの養成を目的とします。他の研究機関との連携も密にし、研究・教育の充実を図ります。

In this research area, students conduct researches that contribute to health enhancement and sports performance improvement from the perspective of basic science. It aims to educate researchers with outstanding ability to perform researches regarding natural science aspects of sports and a wealth of knowledge that forms the base of such researches, highly skilled experts involved in such research, teachers, sports coaches, administrative officers, and staffs of sports-related companies with advanced knowledge and skills related to sports science and physical education. We will closely work with other research institutions to enrich our research and education functions.

研究指導名 Research Area	資格 Qualification	担当教員名 Name of tutorial	修士 Master	博士 Doctor
スポーツ神経科学 Sports Neuroscience	教授 Professor	彼末 一之 KANOSUE, Kazuyuki	●	◎*
生体ダイナミクス Biodynamics	教授 Professor	川上 泰雄 KAWAKAMI, Yasuo	●	◎
スポーツ生理学 Sports Physiology	教授 Professor	村岡 功 MURAOKA, Isao	●	×
スポーツ心理学 Sport Psychology	教授 Professor	正木 宏明 MASAKI, Hiroaki	●	◎
スポーツ情報処理 Sport Information Processing System	教授 Professor	菅田 雅彰 HONDA, Masaaki	●	×
統合運動神経生理学 Sport Physiology & Neuropsychology	教授 Professor	宝田 雄大 TAKARADA, Yudai	●	◎
バイオメカニクス Biomechanics	教授 Professor	矢内 利政 YANAI, Toshimasa	●	◎
スポーツ栄養学 Sport Nutrition	教授 Professor	田口 素子 TAGUCHI, Motoko	●	○

※「×」は募集しないを示します。  
※「\*」は4月入学のみを募集し、9月入学は募集しません。  
※博士・Doctor欄の「○」は日本語での研究指導を担当する教員を、「◎」は日本語・英語での研究指導を担当する教員を表します。  
※「×」「—」 means "accept no application".  
※「\*」 means that it accepts only for April enrollment, not for September enrollment.  
※「○」 in "Doctor" field means that the supervisor offers the tutorial in Japanese, "◎" means that the supervisor offers the tutorial in Japanese and English.



コーチング科学研究領域  
Coaching research area

多様なシーンのコーチングを  
学際的にとらえる

Taking various scenes of coaching using interdisciplinary approaches

本研究領域では、現代社会に機能する「コーチング」をスポーツ・教育の分野から科学的に、また技能的に捉え、競技種目に対するコーチングの現象を専門的理解により深めることやスポーツ参加者への導入・展開の技術修得や環境づくりの関係を学際的な方法により究明します。一流選手をはじめとする競技者のパフォーマンス獲得のプロセスや根拠を解明し、効率よくパフォーマンスを向上させる原理を構築します。実践的研究・教育を通じて理論武装した競技者の輩出、およびそれを指導する能力を有する高度なスポーツ実践者、指導者、研究者の養成をめざします。

In this research area, we look at "coaching" that works on the modern society from the perspectives of sports and education scientifically and technically. At the same time, we investigate the relation among enhancing effectiveness of coaching in sporting events through specialized understanding, acquiring skills to introduce and expand it to sports participants, and building environment using interdisciplinary approach. We reveal the processes of and grounds for outstanding performance achieved by top players and other athletes, and establish the principles for improving performance efficiently. Through practical research and education, we aim to produce athletes armed with knowledge and educate advanced sports persons as well as coaches and researchers with the ability to coach them.

研究指導名 Research Area	資格 Qualification	担当教員名 Name of tutorial	修士 Master	博士 Doctor
走運動・コーチング科学 Coaching of Running	教授 Professor	磯 繁雄 ISO, Shigeo	●	—
トップスポーツコーチング科学 Top Sports Coaching Science	教授 Professor	奥野 景介 OKUNO, Keisuke	●	—
スポーツコーチング学 Sport Coaching Studies	教授 Professor	土屋 純 TSUCHIYA, Jun	●	○
コーチング心理学 Coaching Psychology	教授 Professor	堀野 博幸 HORINO, Hiroyuki	●	○
ボールゲーム戦術戦略論 Strategy and Tactics of Ballgames	教授 Professor	倉石 平 KURAIISHI, Osamu	●	—
トレーニング科学 Training Science	教授 Professor	岡田 純一 OKADA, Junichi	●	○
チームスポーツコーチング論 Team Sports Coaching	准教授 Associate Professor	松井 泰二 MATSUI, Taiji	●	—
武道のコーチング学 Coaching of Budo: Japanese Martial Arts	教授 Professor	射手矢 岬 ITEYA, Misaki	●	◎

※「—」は担当なしを示します。

※博士・Doctor欄の「○」は日本語での研究指導を担当する教員を、「◎」は日本語・英語での研究指導を担当する教員を表します。

※「—」 means "accept no application".

※"○" in "Doctor" field means that the supervisor offers the tutorial in Japanese, "◎" means that the supervisor offers the tutorial in Japanese and English.

Health and Exercise Science

The master's program with a specialization of health and exercise science is designed to help students develop a thorough understanding of the basic principles and comprehensive knowledge related to health and exercise science. Students will learn fundamental research skills in the topic of their choice within the field of specialization. Conducting their own research projects and submitting a master's thesis are required for completing the master's degree program.

Master's Thesis Advisors

Specialization	Qualification	Name
Muscle biology	Professor	AKIMOTO, Takayuki
Sports neuroscience	Professor	KANOSUE, Kazuyuki
Biomechanics	Professor	KAWAKAMI, Yasuo
Sports psychology	Professor	MASAKI, Hiroaki
Sport Physiology & Neuropsychology	Professor	TAKARADA, Yudai
Biomechanics	Professor	YANAI, Toshimasa
Exercise physiology	Associate Professor	MIYASHITA, Masashi
Sleep Science	Associate Professor	NISHIDA, Masaki

Sport Management

The master's program with a specialization of sport management focus on the effective management of sport organizations such as national and international sport governing bodies, professional sports leagues, teams and clubs. Students will acquire knowledge on various management elements related to sport such as sport management, Sport marketing, Sport governance, Sport policy, Sport event and facility management, Sport finance and economics, Sport in society, and Historical foundation of sport, and from these academic viewpoints, they analyze sport phenomena and conduct research that leads to policy planning.

Master's Thesis Advisors

Specialization	Qualification	Name
Sport management	Professor	HARADA, Munehiko
Sport marketing	Professor	MATSUOKA, Hirotaka

Two-year Master's Program

30 credits can be taken as follow

Compulsory/ Elective	Subject Category	Subject Details	Completion Requirements
Compulsory	Tutorial	Tutorial by research supervisor	Pass over 2 years
	Master's thesis		Pass
	Seminar subjects	Seminar (1)A/B and (2)A/B offered by research supervisor	8 credits
Elective	Seminar subjects	Seminar for introduction of Sport Science	2 credits
	Seminar subjects	Seminar (1) (2) not taught by research supervisor (0-8credits)	20 credits (or more)
	Lecture subjects Field work subjects	Select freely regardless of the area or course※	
Number of credits for completion			30 credits (or more)

※Except for basic elective subjects for one-year Master's Program.

修士課程2年制  
博士後期課程  
履修方法

## 修士課程2年制

1. 修士課程2年制を修了するには、通常2年以上4年以内在学し所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたいえ、修士論文の審査および試験に合格しなければなりません。合格者には「修士(スポーツ科学)」の学位が授与されます。

2. 30単位は、次のように履修します。

必修/選択	科目区分	科目の説明	修了要件
必修	研究指導	指導教員による 研究の指導	2年分 合格
	修士論文		合格
	演習科目	指導教員担当の演習 (1)A・B、(2)A・B	8単位
		スポーツ科学演習	2単位
選択	演習科目	指導教員以外の演習(1)(2) (0~8単位)	20単位 (以上)
	講義科目 実習科目	領域・コースに とられず自由に選択※	
修了単位数			30単位 (以上)

※ただし、修士課程1年制コース「基礎選択科目」を含まない。

## 博士後期課程

1. 博士後期課程を修了するには、通常3年以上6年以内在学し、論文作成のために必要な研究指導を受けたいえ、博士論文の審査および試験に合格しなければなりません。合格者には「博士(スポーツ科学)」の学位が授与されます。

2. 授業科目について必要な単位はありませんが、指導教員の指示により、修士課程の授業科目を履修しなければならない場合があります。

## Doctoral Program

The requirement for completing the Doctoral Program is to be enrolled in school generally three years or more up to six years, receive the tutorial necessary for preparing doctoral dissertations, and pass the review of doctoral dissertation and examinations. The student who passes them will receive the Doctoral Degree (Sport Sciences).